

戦気 NO-13

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです



2月16日 福基雄基 Sフライ級 日本ランカー撃破!

2月16日、後楽園ホールの第5試合に福本雄基が登場した。A級に昇格した2戦目で初のランカーとの対戦だった。対戦相手は白石豊土選手(協栄ジム: 14勝6KO3敗1分)で福本の倍の戦績がある右ボクサーファイター。

福本は落ち着いていた。1~2ラウンドは左ジャブ、右ストレート、右アッパーが決まる。足さばきも巧い。白石選手は力強い左右のフックで応戦し口髭をはやし眼が鋭い。

3ラウンドの福本は飛ばしすぎではないかと思うほど右ストレートや右アッパーを思いっきり打ち込む。前試合ではスタミナ不足で途中失速したので心配したが杞憂であった。

4ラウンドに福本の左ジャブからのワンツースが白石選手の顔面をとらえ白石選手は鼻血を出し流血の戦いとなる。

6ラウンドに偶然のバッティングにより白石選手の左頬が切れたがお互い疲れが見える。7~8ラウンドは福本の左ジャブ、右フック、右アッパーで終始押し気味に試合を進める。フットワークも落ちない。

結果は3:0(78:76、77:76、77:76)で福本の判定勝利となり日本ランカーを打ち破り、今月末のランキング入りが確実となった。おめでとう! 福本雄基!

福本選手の言葉

前回は相手を倒そうと力んでしまったが、今回は冷静になるよう努めた。沢山の方が応援に来てくれて勝てて嬉しい。この勝ちで驕らず、走り込んでスタミナをつけ、ランキングから落ちないようにしていきたい。

2月9日 平井良維 Sライト級 A級初戦 判定負け



平井のA級初戦は苦い判定負けとなった。対戦相手は大久保充選手(宮田ジム: 15戦9勝3KO6敗)。

試合は山場のない淡々とした流れだったが、2ラウンドには平井の左ボディが決まるが大久保選手のパンチをかなり顔に打たれる。相手選手の正面に立ち左右に変化しないからだろう。

5ラウンドに大久保選手のパンチにより平井の左頬が切れ苦しい試合展開となり、この回もかなりパンチをもらった。

8ラウンド判定結果は3:0(78:75、78:76、77:75)で苦い敗戦となった。前に出ないのは平井の性格によるのだろうか今後、積極的に打って出る姿勢がほしい。がんばれ! 平井!



ごんごちゃんを見た!!

戦いに臨んで大切にしたい心構えは「勝って驕らず敗者をいたわり、負けて腐らず勝者を讃える」ことです。ジム生はボクサーとして強くなることを第一義的に追求しますが、同時に精神的な成長も追求しなければなりません。ただ強いだけで理性・品性を欠き、人にたいする優しさや人間性、人格が伴わなければチャンピオンになっても尊敬されません。ボクシングという競技を通し、人として成長していかなければ真のチャンピオンにはなれないのです。ジム生、自分を信じ前進しよう!



3ラウンド 福本の右ストレートが伸びる

三谷会長のコメント

平井は三谷ジムで一番巧いのに勿体ない。試合は80点だけど演技力は0点。演技力がへたではダメ。ジャッジへの影響を考えて疲れていても疲れたという素振りを出してはだめだ。もっとスタミナをつけて、ポイントをアピールできるようになってもらいたい。

前川は良かった。距離感がよかった。康太と同じだ。最初ごちん食らって普通は我を忘れるものだけど練習でやってきたことをキチンと出していた。練習では弱いけれど試合に強いタイプだ。これからも頑張れ。

福本は日本ランカーになるんだ、という執念が今日の勝ちにつながった。前日計量時に、福本が「明日の試合が楽しみだ」と言ったのを聞いて今日の勝利を確信した。その通りになった。練習通りを試合に出すのは難しいのだけれど、今日の福本は練習通りに左ジャブ、右アッパー、ワンツースのコンビネーションがよく出ている。昨年の忘年会で言った「有言実行」の日本ランカーを育てる、のひとつ目が出来た。

前川 KO勝利で鮮烈デビュー(2/9)



青コーナーからサングラスをかけ登場した前川はデビュー戦だが落ちて見えているように見えた。対戦相手の吉田俊介選手(宮田ジム)もデビュー戦である。勝負はあっけなく終わった。1ラウンドに2ノックダウンを奪った前川の46秒のKO勝利だった。

リングサイドで応援していたお母さんと妹が満面の笑みを浮かべて前川に拍手を送っていた。前川、おめでとう!

スケジュール

- 3月 9日 小林慶行、林涼樹、デビュー戦
- 3月 9日 イノウエ寿 第4戦
- 4月 24日 鬼ヶ島竜、斎藤司、加藤健太

編集後記

プロ選手は、お金を払って応援に来てくれたファンが一瞬も目を離せないような素晴らしい動きと、素晴らしいファイトをリング上で見せてこそプロフェッショナルだ、という気持ちを常に持って欲しい。そのため常に前向きに真剣にトレーニングを積むことだ。結果はついてくる。